

第三者評価結果シート（乳児院）

種別	乳児院
----	-----

①第三者評価機関名

株式会社福祉工房

②評価調査者研修修了番号

SK15011
S-24-13

③施設名等

名称：	（社福）仙台キリスト教育児院 丘の家乳幼児ホーム
施設長氏名：	須貝 隆
定員：	30名(暫定29名)
所在地(都道府県)：	宮城県
所在地(市町村以下)：	仙台市青葉区小松島新堤7番1号
T E L：	022-233-3202
U R L：	http://scikujiin.or.jp/
【施設の概要】	
開設年月日	1955/12/1
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人仙台キリスト教育児院
職員数 常勤職員：	45名
職員数 非常勤職員：	1名
専門職員の名称（ア）	医師（非常勤嘱託）
上記専門職員の人数：	1名
専門職員の名称（イ）	看護師
上記専門職員の人数：	4名
専門職員の名称（ウ）	保育士
上記専門職員の人数：	33名
専門職員の名称（エ）	管理栄養士
上記専門職員の人数：	1名
専門職員の名称（オ）	調理士
上記専門職員の人数：	3名
専門職員の名称（カ）	音楽療法士
上記専門職員の人数：	1名
施設設備の概要（ア）居室数：	
施設設備の概要（イ）設備等：	
施設設備の概要（ウ）：	
施設設備の概要（エ）：	

④理念・基本方針

<p>（理念）キリスト教精神に基づき、社会福祉の向上にあたる。（仙台キリスト教育児院）</p> <p>（基本方針）教育方針：集団生活の中での個性の尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 養育目標：健康でたくましく、情緒の豊かな子どもに
--

⑤施設の特徴的な取組

<p>全国の乳児院に先駆けて「個別担当養育制」（入所から退所まで同一の養育者が担当する）と「小グループの養育」（各ホームあたり6人まで）を進め、より家庭に近い環境の中で、ゆったりとした雰囲気でも過ごせる乳児院としている。</p>
--

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2017/5/22
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2017/12/28
受審回数	1回
前回の受審時期	平成26年度

⑦総評

特に評価の高い点

・家庭的な環境の下での養育

設立後早い時期より小舎制を採用し、6名ほどで一つのホームを形成し、それぞれ一般の家庭と同様の部屋で生活、職員も個別担当養育制を採用し同一の職員が入所から退園後まで担当するなど、出来るだけ家族的な環境の下での養育が取り組まれている。

・地域との連携

事業所としての機能や設備を活用し、地域の未就園児を対象とした親と子の健康教室（はとぼっぼの会）を毎週開催したり、育児に関する電話相談や支援が行なわれ、地域の育児に関する支援が積極的に取り組まれている。

改善を求められえる点

・具体的計画の策定

建屋の建て替え、制度の変更といった面はあるが、中長期計画やこれに基づく事業計画の策定に関し、より具体的な取組みや、改善課題をより明確にし、職員との共有を図っていくことが求められる。

・職員の育成と定着

職員は自らの研修計画を立案し質の向上に向かっての取組みが行なわれているが、職員の進捗の確認や、適切なアドバイスを行なっていくための職員面談を半期に一度は実施していくことや、将来の目標を話し合うなどの取組みが期待される。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

個別担当養育制を採用した家庭的な環境の下での養育や、「はとぼっぼの会」などによる地域との連携については当施設としても特に力を入れている分野であり、評価して頂いたのは嬉しいことである。

乳児院の新しい方向性については、厚生労働省の検討会から「新しい社会的養育ビジョン」が提出され、その中で乳児院についても新しい方向性（新規措置入所の停止、里親委託率75%、乳児院の多機能化・機能転換）が示されるなど、大きく変わろうとしている。現在の乳児院の建物は築後三十数年が経過して新たな建物の建設が求められている。乳児院の変革の方向性を見極めたうえで、改善課題を明確にした計画を策定し、新たな乳児院の建設に向け、職員の意見の集約を図っていききたい。

職員との面談については、本人の目標や学びたいテーマなどを中心に実施しているが、重ねて年度末にも実施し、新しい乳幼児ホームの方向性などについても、各職員の意識などを確認していきたい。

第三者評価結果（乳児院）

共通評価基準（45項目） I 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第二評価結果
<p>① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念、基本方針が文書（事業計画等の法人・施設内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等）に記載されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念は、法人・施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人・施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p> <p>運営理念、事業方針はキリスト教精神に基づき策定され、パンフレット、事業計画書に記載され、職員には4月に説明し、又、毎年、概要を9月に作成し全員に配布している。保護者には、入所にあたっての資料を基に、家庭支援員が説明している。</p>	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第二評価結果
<p>① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、法人・施設が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/> 定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p> <p>園長は全国乳児院協議会や東北、北海道ブロックの会議に出席、又、全国社会福祉協議会の会議にも出席し、全国的な乳児院に関連する情報や、地域における動向などの情報を得ている。</p>	

②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a
	<input type="checkbox"/> 経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	○

【コメント】

制度改正に関する情報を、各種会議から得ており、これらに関する情報を職員や、法人の役員に提供し、対策を検討している。得られた情報は毎月行われる全体会議で全職員に提供し、朝のミーティング等で対策を検討している。又、法人とも月2回の幹部会で対策が協議されている。

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第一評価結果
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	

【コメント】

施設の建て替えを主に置いた中・長期計画が立てられていたが、厚労省からの新たなビジョンが示され、現在計画の見直しが行われている。この見直しに関し職員へ周知していく取り組みをさらに進めていくことが期待される。

②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	

【コメント】

中・長期計画計画をもとにした単年度の計画が立案されているが、必ずしも年度計画が中・長期計画とリンクしていない面もうかがえる。今後、中・長期計画の見直しを行っていく過程において、年度の計画とリンクさせていくことが期待される。

(2) 事業計画が適切に策定されている。

①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。	○

【コメント】

法人のスケジュールに従って行われており、各係の職員からの意見を基に園長が取りまとめ策定し、職員への配布説明も行われている。前年の進捗や課題に関し、翌年の計画に反映していくことが期待される。

②	7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、子どもや保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	

【コメント】

保護者に対しては2か月に一回各ホームの状況や家庭支援、子どもの様子等を記載しお便りを送付しているが、事業計画に関しての送付や説明は現状では行われてはいない。状況によって、連絡のつけられない保護者以外に関しては、工夫を行い説明をしていくことも期待される。

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1)	質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第一評価結果
①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	○

【コメント】

毎月の研修会、園内でのインシデントや各職員の困っていることなどを話し合う会議が定期的に設定され、又、3年ごとの第三者評価及び間の二年間の自己評価を実施、担当部門を設定し、各職員からの評価結果における課題を話し合っている。

②	9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	

【コメント】

会議等において課題とされた問題に関しては、職員ミーティングにおいて、話し合わせ、改善の取り組みが行われている。自己評価から抽出された課題についても、確認されているが、更に、自己評価結果を整理し、課題をより明確にし、改善の取り組みを職員に周知していくことも期待される。

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		第一評価結果
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	○

【コメント】

職務分掌が作成され、職員への説明も行われている。職員には年度初めに園長としての年度の取り組みを発表し、会議記録に記載し、各職員への周知を行っている。

②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○

【コメント】

全国乳児福祉協議会の施設長会議やブロック会議での福祉及び関連する法令や制度に関する勉強会に出席、職員に対しても職員会議で伝達研修を行い、職員への周知を行っている。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

園長は各ホームごとに行われる会議や毎月行われるヒヤリハット委員会に出席し、支援の状況に関しての確認を行っている。又、毎日各ホームを回り、子どもや職員の顔色などを観察し、状況の変化をとらえる取り組みを行っている。又、職員からの意見を聞くために、毎年職員面談が行われている。

②	13 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	

【コメント】

業務改善の取り組みとして、職員との面談を実施、職員の意見を基に改善の取り組みを行い、年度の改善目標へつなげている。園長は就任後2年目であり、職員との面談はまだ年1回のみであり、今後複数回の面談を目指しており、継続的な取り組みに期待する。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 法人・施設として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

人材に関する基本的な考え方や方針に関しては策定され、これに基づく配置が行われている。現状では計画に対し職員は充足しており、毎年10月に職員から翌年度の異動に関する希望が聞かれ、必要に応じて募集が行われる仕組みとなっている。又、年間での研修計画が立てられこれに基づく研修が実施されている。

第一号
評価結果

②	15 総合的な人事管理が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 法人・施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができて	
	いる。	

【コメント】

期待される職員像は明確となっているが、一般的な人事考課は行われてはいない。昇給、賞与に関しては法人の規定に従って行われている。職員とは年2回の面接を行う予定とし、目標設定シートを記入し、職員への目標に関する確認やアドバイスが行われている。更に、職員の数年後の目標等も話し合い、将来の姿をイメージさせるような取り組みも行っていくことが期待される。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような施設内の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	○
	<input type="checkbox"/> 人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	○

【コメント】

職員の就業状況に関しては園長により把握されているが、夜勤明けやシフトによる休暇を取ることで、有給休暇の取得状況が悪かったものを、連続した休暇を取得することを奨励し、今年度においては有休の消化率が改善するなどの取り組みが行われている。福利厚生に関しては、法人の規定によっており、現在はグリーン・パルへの加入が行われている。職員のストレスに関しては職員によるチェックシートの記入と業者への送付、本人へのフィードバック、必要に応じて産業医への紹介や、法人の保健師のフォローが行われている。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	○
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	

【コメント】

職員からは目標管理シートが提出され、各職員の年度の目標が明確となっている。職員とは面談が行われているが、目標に対する進捗はまだ進んではいない。今年度は2回の面談を行う計画となっており、目標に対して進捗やアドバイスを行っていくことが期待される。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	○

【コメント】

研修担当が選任され、年間の研修計画、及び個人別研修計画が立案され実施されている。又、職員との面談の結果を参考に研修の見直しも行われている。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○

【コメント】

職員の経験や資格については把握されており、法人において階層別研修が計画実施されている。外部における研修に関しても、全職員に対し回覧による案内がされ、希望により参加が行われている。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成に関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援の専門職の教育・育成についてのマニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	○

【コメント】

実習は積極的に行われており、昨年度は13校39名の受け入れが行われた。法人が実習窓口になり、各ホームごとに指導者が置かれ、全体の統括は主任が行っている。マニュアルは策定され、目的等も明記されている。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第一評価結果
<p>① 21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人・施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。</p> <p><input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。</p> <p><input type="checkbox"/> 法人・施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人・施設の有存在意義や役割を明確にするように努めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p> <p>ホームページを利用し、法人としての運営情報及び乳児院の概略に関しては詳細に公表されている。乳児院の活動に関しては広報誌の地域への配布も行われている。苦情受付に関しても窓口がHPに明記され公表されている。</p>	
<p>② 22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p> <p>乳児院の事務処理等は法人のルールに従って行われており、取引や経理処理等は全て法人の事務部門での処理となっている。法人は年2回定期的に監査が行われている。</p>	

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第一評価結果
<p>① 23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの個別状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p> <p>地域との連携は熱心に取り組まれており、毎週水曜日に地域の未就園児と親を対象に「はとぼっぼの会」が催されており、利用者やボランティアも交え、遊びや運動などの取り組みが行われている。又、必要に応じて入所の子どもを近くの幼稚園に通園させている。</p>	

②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 学校教育への協力を行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

ボランティア受入れマニュアルは策定され、受入れに関する目的等も明記されている。現在学生ボランティア4名が行事での応援に、及び、近所の主婦による裁縫や環境整備などの協力をもらっている。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

児童相談所との年2回の定期的な会議が行われている。又、園長は関係する児童相談所を訪問し、情報交換を行っている。又、必要に応じて市町村の窓口との連携も行っている。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 施設が有する機能を地域に還元している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設のスペースを活用して地域住民との交流を意図した取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設の専門性や特性を活かし、地域住民の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設の専門性や特性を活かした相談支援事業、支援を必要とする地域住民のためのサークル活動等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 災害時の地域における役割等について確認がなされている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

乳児院の持つ専門性を活かして、地域の親子への育児に関する電話相談や支援も行われており、毎週水曜日には地区の親子と利用者を交えた親子の健康教室（はとぼっぼの会）が開催されている。

②	27 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業を実施することなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	○
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	○
【コメント】		
育児に関する電話相談窓口の開設、行政との打ち合わせにより、市や区からの委託事業として、ショートステイ事業が行なわれている。		

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第二種 評価結果
①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援実施に関する基本姿勢が、個々の養育・支援の標準的な実施方法等に反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	○
【コメント】		
倫理綱領や基本方針を毎月会議で確認し、子どもの最善の利益を目指した支援への取り組みを行っている。		

② 29 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した養育・支援の実施が行われている。	a	
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、子どものプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 保護者等にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。	○
<input type="checkbox"/> 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。	○	

【コメント】

子どもの権利擁護の規定が業務における各種マニュアルに取り込まれ、これに基づく支援が行われている。

(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

① 30 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a	
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	○

【コメント】

入所にあたっての案内書が用意され、家庭支援相談員から丁寧な説明が行われている。

②	31 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の自己決定を尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	○
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	○

【コメント】

施設への入所は児童相談所で決定している。入所にあたってはパンフレットを基に丁寧に説明を行っている。

③	32 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	○

【コメント】

家庭復帰に関しては手順書に基づき、長い時間をかけ、着替えや食事などを教えている。養護施設への移行に関しては、法人内にある施設へ、遊びに行くなど徐々に慣らしていく取り組みを行っている。退所した時は、その後も定期的に連絡し、状況を確認し、連絡できることも伝えている。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。		第一目 評価結 果
①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもとの日々の関わりのなかで、子どもの満足を把握するように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員等が、保護者等とのコミュニケーションを可能な範囲で図り、定期的に保護者等の満足を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した子どもの満足を集約する担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために検討会議の設置等が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	○

【コメント】

毎月ホーム会議を開き、一人ひとりの子どもの様子に関する話をし、子どもへの対応を協議している。保護者が面会に来た時には職員と日常の様子などについての話をしている。

(4) 保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○

【コメント】
 苦情解決のマニュアルが策定され、2か月に1回苦情処理委員会が開催され、苦情等に関する話が行われている。又、第三者委員も2名委嘱され、苦情に関してはホームページで公表することとしている。

②	35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
	<input type="checkbox"/> 保護者等が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【コメント】
 保護者からの家庭復帰等の相談に関しては、児童相談所が受けており、保護者からの育児の相談に関しては、職員と園長同席で、園長室で受けている。

③	36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の養育・支援の実施において、保護者等が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者等の意見を積極的に把握する取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○

【コメント】
 相談意見に関する窓口は家庭支援専門員が担当し、又、面会時の記録はPC上に記録され、職員間での情報の共有化が図られ、ホーム会議での対応が話し合われている。意見や相談への対応に関するマニュアルは策定され、意見箱は玄関に設置されている。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。

第一回
評価結
果

①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	○

【コメント】

看護師がリスクマネージャーとなり、ヒヤリハット委員会が毎月1回開催され、各ホームより1名の職員が参加し、原因の分析や対策が話し合われ、各部屋での対応が行われている。

②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。	○
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。	○

【コメント】

感染症に関するマニュアルが策定され、職員に対する研修も行われている。各ホームの看護師を中心に対応が取られており、マニュアルの見直しも行われている。

③ 39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	a
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、養育・支援を継続するために必要な対策を講じている。	○
	<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	○
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。	○
【コメント】 防災マニュアルが策定され、毎月の訓練が行われている。火災に関しては毎月出火場所を変えての訓練が実施され、備蓄についても担当者を決め、入れ替えを行いながら準備されている。又、土砂災害のマニュアルも策定されている。		

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		第二号 評価結果
① 40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	○
	【コメント】 全国乳児院協議会の養育指針を基に業務マニュアルを策定し、プライバシーの保護や権利擁護に関する姿勢を明示、全職員が統一した取り組みを行うよう、勉強会等で周知を図っている。	
② 41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	○
【コメント】 標準的な実施方法に関しては、専門職間で話し、都度見直しが行われている。		

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズが明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、保護者等の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	○

【コメント】

自立支援計画は家庭支援専門員が利用者個々のアセスメントを基に、保育士など関係者と協議し作成し、園長、副園長の承認により作成し年2回児童相談所への送付が行われ、又、年2回見直しも送付されている。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者等の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○

【コメント】

見直しは手順書に基づいて行われており、5月及び11月に作成し8月と2月に見直しが行われている。

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○

【コメント】

統一されたフォーマットを使用しPC上で記録、事業所内のネットワークで各職員が閲覧し、情報共有が図られている。外部とのネットワークは遮断され、セキュリティにも配慮した仕組みが出来ている。

②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。	○

【コメント】

ケース記録は鍵のかかる園長室の戸棚に管理され、閲覧は部屋の中で行うこととされている。退所した利用者の記録は年度ごとに倉庫の中に保管されている。職員に対して個人情報保護に関する規定に関しても会議等での周知が図られている。

内容評価基準（22項目）A-1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮		第一目 評価結 果
① A1 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容が子どもにとって最善の利益になっているか、振り返り検証する機会が設けられている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員が、子どもの最善の利益の実現を目指し、子どもによりそい、その思いを代弁する役割と使命を共通理解し、その実現に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの最善の利益を実現させるために、日々の養育・支援に関する姿勢や子どもへの接し方等について、振り返り改善する取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設全体の養育・支援の質の向上を図るために、研修や自己研鑽によって職員が専門性を高めている。	○
	<input type="checkbox"/> 養育実践や養育の内容に関する職員の共通理解や意見交換を図る機会を設け、協働性を高めるよう取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/>	○
【コメント】 全国乳児福祉協議会の倫理綱領を使用し、子どもの最善の利益を目指した養育方針を掲げている。職員は研修や毎月の各ホームごとの会議やミーティングで確認している。		
(2) 被措置児童等虐待対応		
① A2 いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	<input type="checkbox"/> 「就業規則」等の規程に具体的な例を示して体罰等の禁止を明記している。	○
	<input type="checkbox"/> 体罰等があった場合を想定して、施設長が職員にその原因や体罰等の方法・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがつけられている。	○
	<input type="checkbox"/> 体罰等の起こりやすい状況や場面について、研修や話し合いを行い、体罰等を伴わない的確な援助技術を習得できるようにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 体罰等の禁止を職員に徹底するため、日常的に会議等で体罰等を取り上げ、行われていないことを確認している。	○
	<input type="checkbox"/>	○
【コメント】 体罰しない養育を研修で周知。園長、副園長、主任が各ホームを訪れ、養育の方法を確認し、不適切な支援が行われている場合は、規則に従い処分することとしている。		

②	A3 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止について、具体的な例(ヒヤリハット等)を示し、職員に徹底している。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりに迅速に対応できるように、乳幼児からの訴えやサインを見逃さないよう留意している。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりがあった場合を想定して、施設長が職員にその原因や方法・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行うようなリスクマネジメントがなされている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの起こりやすい状況や場面について、研修や話し合いを行い、これによらない援助技術を習得できるようにしている	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止を徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことを確認している。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止の視点から、職員体制(配置や担当の見直し等)を検討している。	○

【コメント】

勉強会でどこが不適切な関りなのか、具体的な例をあげ、研修を行っている。園長や副園長が各ホームを訪れ、養育方法を確認、養育に関してのアドバイスをを行っている。

③	A4 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について、対応マニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待が疑われる事案が生じたとき、施設内で検証し、第三者の意見を聞くなどの迅速かつ誠実な対応をするための体制整備ができています。	○
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告があった場合に、届出者・通告者が不利益を受けることのない仕組みが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について、研修会などで職員に周知している。	○

【コメント】

施設内における、子どもに対する職員からの虐待があった場合は、規則に従い処分をすることとし、通告、対応方法に関しては整備されている。保護者による虐待の場合は、児相への届け出がなされている。

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本		第一評価結果
①	A5 子どものころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 乳幼児に対する受容的・応答性の高いかかわりを心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもと養育者の信頼関係が築かれ、子どもが不安になった時など、いつでも応じられるように養育者が側にいるよう配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> どの乳幼児も保護者等、あるいは担当養育者、里親等、特定のおとなと個別のかかわりを持つことができる体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 特別な配慮が必要な場合を除いては、基本的に入所から退所まで一貫した「担当養育制」をとっている。	○
	<input type="checkbox"/> 担当養育者と個別のかかわりを持つことができる時間を確保している。	○
	<input type="checkbox"/> 語りかけや「だっこ」「おんぶ」などの身体のふれあいを通して心の安定を図り、心地よい状態を共有できるよう努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 被虐待経験のある乳幼児等特別な配慮が必要な乳幼児に対しては、個々の状態に応じた関係づくりを行っている。	○
【コメント】 従来より個別担当養育制を取り、入所から退所まで、同一の職員による支援が行われている。子どもと二人で外出し買い物をするなど、個別のかかわりを持ち、愛着関係を育んでいる。虐待を受けた子どもに対応するため、職員は研修を受けスキルアップを図っている。		
②	A6 子どもの生活体験に配慮し、豊かな生活を保障している。	a
	<input type="checkbox"/> 日々の生活リズムは発達や子どもの気持ちに沿いながら一人ひとりにあった形で進められている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設に子どもが安心して暮らせる温かな家庭的雰囲気がある。	○
	<input type="checkbox"/> 居室が安心して、くつろいだり、落ち着ける場所になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 安定した環境の中、おもいおもいに遊ぶことができる安全で使いやすい遊具などがあり、自由に遊びに取り組めるよう配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> 他児と区別された「自分のもの」といえる玩具、食器、衣類、戸棚などの個別化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 満足感の得られる養育者との遊びの時間を提供している。	○
	<input type="checkbox"/> 自然と触れ合える外遊びが養育者との十分なやりとりを交え提供されている。	○
【コメント】 従来より小舎制をとり、各ホームもできるだけ家庭的な環境を重視して作られており、子どもたちがくつろげる環境となっている。各ホームごとに1泊旅行に出かけたり、家族旅行へつなげられる取り組みも行っている。子どもの玩具や衣類、食器などもできるだけ個別化も図られ、引き出しも別々に用意されている。		

③	A7 子どもの発達を支援する環境を整えている。	a
	<input type="checkbox"/> 養育者は、月齢による発達特性(自我の表出等)を認識し、養育に当たっている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 入所までの生活環境や身体的成長の差等から生じる子ども一人ひとりの違いを十分に把握し、尊重している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもの欲求や要求に対し、抱いたり声をかけるなど、タイミング良く気持ちを受け止め対応している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの個々の発達や状態に応じた適切な言葉を用い、穏やかに言葉かけをしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 言葉を獲得し話し始めた子どもの問いかけには、できる限りその場で応答している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 「いや」など駄々をこねたり、自分を表現する力がまだ十分でない子どもの気持ちをくみ取ろうとしている。	<input type="radio"/>

【コメント】

子どもたちの発達の記録は詳細に行われ、ホームごとのミーティングや毎月の会議で情報は共有されている。子どもたちの発達を支援するために、手遊びや、音楽療法などの取り組みも行われ、児童相談所と相談しての発達検査なども行われている。

(2) 食生活

①	A8 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 授乳は、自律授乳を基本としつつ、個々のリズムや体調に合わせて量や時間を工夫している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 授乳時は、乳幼児を抱いて、目を合わせ、やさしく言葉をかけ、ゆったりとした気持ちで飲めるように配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 授乳後は、吐乳・溢乳等を防ぐために排気を十分に行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 一人飲みをさせていない。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 生体リズムの乱れなどで自律授乳や自発的意思の授乳が難しい乳幼児には、その子の状態に応じた授乳を工夫している。	<input type="radio"/>

【コメント】

生まれた時の体重が違うため、その月の量は保育士と栄養士が相談し、又、体重の増え方を見て量を決めるなどきめ細かい配慮がされている。夜間の分は、まとめて作り冷蔵庫で保管、温めて飲ませ、一人飲みはしていない。飲ませ方のマニュアルに従い授乳は行われている。

②	A9 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 在胎期間も含め、入所に至るまでの経過や発育、発達状況を踏まえ、一人ひとりに合わせた食の取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 個々の状態に合わせて離乳を開始し、様々な食べ物や味に慣れさせている。	○
	<input type="checkbox"/> 食事をいやがったり遊びだしてしまう場合にも、時間をかけてゆったりとした気持ちで与えている。	○
	<input type="checkbox"/> 噛む力を養うために、食品の種類や調理方法を工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 栄養士や調理員等は養育者とともに、咀嚼や嚥下の状況を確認し発育状況や体調を考慮しながら離乳食を進めている。	○

【コメント】

離乳食はその子の発達状況に添って、又、アレルギーや未熟児の場合は嘱託医と相談しながら対応している。好き嫌いが出てくる子どもには、保育士が工夫をしながら対応している。自分で持って食べる時期になると、棒状にしたり、刻んで食べさせるなどの対応をしている。アレルギーの子どもへの対応として、名前の色をかえたり、声がけしたりしながら対応している。又、ご飯はホームごとに炊いたり、果物はホームで切って食べるなどの取組みも行われている。

③	A10 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 食事場所は清潔に保たれ、明るく楽しい雰囲気ですぐに食事ができるよう工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが食べやすいように、身体に合わせてテーブルと椅子の高さを適切に調整している。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児が自分で食べようとする意欲を育てられるように、手に持って食べやすいものを用意したり、食器やスプーンなどに触れられるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 食前の手洗い、食前後のあいさつ、食後の歯磨きなどが定着するよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育者や他児と一緒に食事を楽しんでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 食事の食べ方や量にばらつきがあっても全部食べることにこだわらず、おいしく楽しく食べられるように、子どもと視線を合わせ、様子をみながら言葉をかけるなど雰囲気づくりに気を配っている。	○
	<input type="checkbox"/> 日々の食生活を通じて食べたいものや好きなものが増える工夫がされている。	○
	<input type="checkbox"/> お腹がすくリズムが持てるよう、朝食・昼食・夕食の間隔は適正になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 栄養士、調理員等が、食事の様子をみたり、介助するなか、一人ひとりの発育状況や体調を考慮した調理を工夫している。	○

【コメント】

食事は各ホームごとにテーブルを囲んで、職員と一緒に食べている。椅子もその子の状態に合わせて高さを調整している。コップやスプーンは個別のものとし、食前の手洗い、食後の歯磨きなども行われている。調理士は各部屋ごとに立会い、栄養士は各部屋を回り、食事の状況を観察し、メニューへの対応をしている。

④	A11 栄養管理に十分な注意を払っている。	a
	<input type="checkbox"/> 十分なカロリーと栄養のバランスよい献立が、栄養士により準備されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 栄養だけではなく季節感を取り入れた食事が提供されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の体調、疾病、アレルギー等に個別に対応した食事を提供している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の嗜好や栄養摂取量の把握に努め、献立に反映している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> さまざまな「食育」への取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達に応じて、食事の準備や食事作りを見たり、かかわる機会を持ち、食べることに興味関心を持つことができるよう工夫している。	<input type="radio"/>

【コメント】

月齢よりもその子の状態や体重の増え方に合わせ栄養士と保育士が相談し、食事の提供を行っている。おやつは午後一回手作りの物も含め提供している。食育として、外でキュウリやミニトマトを栽培し、子どもと一緒に収穫し、食事に提供している。

(3) 衣生活

①	A12 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 衣類は吸湿性・通気性に富み、清潔を保ち、肌に刺激の少ない材質を使用している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の体型を考慮し、活動を阻害せず、着脱が容易なものを使用している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 気候調節へ配慮し、寒暖の状態に適した枚数と厚さにしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 寝ている生活が主なときは前開きのもひを、動きが活発になったら活動的で腹部や背中に出ないものを選ぶなど、生活実態に適し、個々の発達に応じた衣類管理を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 衣類は個別化し、個人別に収納している。	<input type="radio"/>

【コメント】

衣類は予算の範囲で、職員が必要に応じて工夫をしながら購入している。衣類は個別化され、各ホームごとに洗濯機を使用して洗濯が行われ、清潔が保たれている。

(4) 睡眠

①	A13 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 室内の環境として、温・湿度、換気、明るさ、静かさ、音楽などを快適に保っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 寝具の環境として、肌に触れる素材は綿素材を用い、広さ、形状、硬さなどを快適に保っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 睡眠時の状況を観察している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 快適に十分な睡眠をとれるよう、個々の乳幼児の発達・心理に配慮した職員の対応など具体的な独自の取組を行っている。	<input type="radio"/>	

【コメント】

冷暖房設備、加湿器が各ホームに設置され、又、寝具は綿素材のものを使用し、遮光カーテンがつけられ、快適に睡眠がとれる環境を整えている。乳幼児のホームは3ホームに分かれ、泣く子がいても、他のホームにあまり聞こえない工夫もされている。

(5) 入浴・沐浴

①		a
A14 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。		
<input type="checkbox"/>	入浴・沐浴を毎日している。	○
<input type="checkbox"/>	浴室・沐浴槽などの設備やタオル・バスタオルなどの備品は常に清潔が保たれている。	○
<input type="checkbox"/>	乳幼児の年齢、発達、発育等、個々の状況に応じた入浴方法がとられている	○
<input type="checkbox"/>	安心して、心地よく、楽しい入浴・沐浴になるような言葉掛けなどの配慮がなされている。	○
<input type="checkbox"/>	入浴・沐浴に際し、おもちゃ等を用意し、心地よい体験になるよう工夫している。	○

【コメント】

浴室は各ホームごとに一般の浴槽が用意され、毎日の入浴が行われている。一歳以上児は職員と一緒に入浴し、おもちゃで遊びながら入浴を楽しむ取り組みも行われている。

(6) 排泄

①		a
A15 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。		
<input type="checkbox"/>	おむつ交換のときに、言葉をかけながら身体をマッサージなどして、おむつ交換が心地よいものであることを伝えるように心がけている。	○
<input type="checkbox"/>	発達段階に応じて、排泄への興味を持てるように配慮している。	○
<input type="checkbox"/>	発達段階に応じて、おむつが濡れていないときは、便座に誘導するなどして自分から便座に座る意欲を持てるように配慮している。	○
<input type="checkbox"/>	発達段階に応じて、個々の幼児のリズムや気持ちに合わせて誘導を行っている。	○

【コメント】

マニュアルが作成され、各ホームのトイレは子どもが使用できるように設備され、子どもは発育に従い、おまるで練習し、トイレでの排泄ができるよう訓練されている。

(7) 遊び

①	A16 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 玩具の色・形や音色などを選ぶように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 戸外に出かけ、外界への興味を広げられるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 模倣遊びや職員や他の乳幼児とのふれあい遊びを通して、情緒の育成を図り、人との豊かなかかわりができるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育者や他の子どもと楽しく遊ぶことができるよう心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの五感を育てる遊びが提供できるよう工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 月齢により、収納場所を設け、玩具の個別化をし、自分の物という喜びや認識ができるよう工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの手の届く所に玩具の収納場所を設け、年齢によっては自由に出し入れして遊べるようにしている。	○

【コメント】

子どものおもちゃは、予算をたて購入もしくは寄付によりそろえている。購入に際してはできるだけ手を使うおもちゃを選んでいる。おもちゃは共通のもの以外に自分専用のももあり、名前を付けて個別の引き出しがあり、自分で整理整頓するようにしている。ホールには共通のおもちゃや遊具があり、敷地内に大型遊具もあり、子どもたちが楽しく遊べる環境は整っている。

(8) 健康

①	A17 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 健康観察記録を作成し、日々の健康状態の変化が一目で把握できるように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 日常的に医療機関等と適切に連携するよう努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 嘱託医による定期健康診断では、身体発育の状態や精神・運動発達・情緒の問題等について総合的な診察を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の条件や集団の構成に応じて、適宜予防接種を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 異常がある場合には、医療機関を受診するなど適切に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> ミルクや離乳食を開始した当初は、発疹などアレルギー症状の出現に注意し、異常所見が見られた場合には速やかに医師に相談し対応策を講じている。	○

【コメント】

健康は毎日記録され、体温も毎日検温している、嘱託医が週3日来院し、健康チェックが行われ、必要な時は薬を出している。毎月の定期健診が行われ、予防接種は看護師と保育士がプログラムを作り、近隣の小児科医で実施している。SIDSの研修は毎月行われ、年に2回は日赤からの講師による研修が行われている。

②	A18 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	a
	<input type="checkbox"/> 病・虚弱児等個々の健康状態の変化が、常に把握できるように工夫している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 服薬管理表等により、適切な服薬管理を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 専門医や主治医の協力のもと、乳幼児の健康状態に応じた療育計画や発達支援計画などを含む支援のプログラム等を作成して、乳幼児の適切な発達を支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 専門医や主治医による定例的な診断を受けている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 異常所見がみられた場合には、速やかに専門医や主治医に相談できる連絡体制をとっている。	<input type="radio"/>

【コメント】

病虚弱児に対しては医師の指示に従い、プログラムを作成しリハビリを行っている。看護師がチェックを行い各ホームで一人一人の分を確保し飲ませている。

(9) 心理的ケア

①	A19 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 心理的支援を必要とする乳幼児について、保護者等への支援も視野に入れた自立支援計画や養育計画に基づき、心理支援内容が明示されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 心理支援内容には、個別・具体的方法が明示されており、その方法により心理的支援が実施されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 心理職をおき、乳幼児にも保護者等にも心理的な援助を行える体制が整っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部の専門家から直接的支援を受ける体制が整っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 心理的なケアが必要な乳幼児や保護者等への対応に関する職員研修やコンサルテーションが行われている。	<input type="radio"/>

【コメント】

以前は心理士が在籍していたが、現状では不在となっている。来年度以降は配置予定となっている。心理的支援が必要な場合は、現在は児童相談所に依頼している。心理的なケアに関しては児童相談所より講師を依頼し研修会を行っている。来年度以降の心理士の確保が期待される。

(10) 施設と家族との信頼関係づくり

① A20 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員が中心となって施設と家族との信頼関係を構築するように努めている。	○
<input type="checkbox"/> 施設が家族と共に子どもの成長を喜び合う雰囲気を大切にしている。	○
<input type="checkbox"/> 面会時に必要に応じて保護者等の養育スキルの向上を支援している。	○
<input type="checkbox"/> 保護者等の相談に積極的に応じるための保護者等面接の設定等、専門的なカウンセリング機能の充実に努めている。	○
<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員は、家族に寄り添い、保護者等の言葉を傾聴する役割を担っている。	○
<input type="checkbox"/> 乳幼児の協働養育者として、日常生活の様子を写真やお手紙に書いて家族に伝えている。	○

【コメント】

家庭支援相談員が配置され、家庭からの面会や電話での相談に応じており、家庭との信頼関係の構築に努めている。児童相談所ともケースによって相談を行っている。又、退所後も誕生日などに保育士とともに連絡を取り様子を確認している。

(11) 親子関係の再構築支援

① A21 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
<input type="checkbox"/> 家庭支援に関する具体的なプログラムや配慮事項が明記されている。	○
<input type="checkbox"/> 入所理由の理解とケアの方向性についてアセスメントしている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもと家族との関係調整については、定例的かつ必要に応じて児童相談所等と協議を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 面会、外出、施設宿泊、一時帰宅などを計画的に設定し、乳幼児と保護者等との関係性が好転し、保護者等の養育意欲が向上するよう支えている。	○
<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅後の乳幼児の様子を注意深く観察し、家族からの不適切なかかわりがあった場合には、その発見ができるように努めている。	○
<input type="checkbox"/> 課題の内容によっては適切な機関につなげられるよう、地域の精神、心理相談のできる機関を十分に把握し、連携をとっている。	○
<input type="checkbox"/> 児童相談所を中心とした他機関との協働により、虐待の未然防止と家族機能の再生に向けてのサービス資源の提供などのソーシャルワークを行っている。	○

【コメント】

家庭支援計画書を作成し、毎月1回各ホームでの会議を行い見直しを行っている。安定した時は家族との外出や、一泊での帰宅等を児童相談所と連絡し行っている。帰ってきた時は子どもの様子を聞き、職員及び児童相談所と情報の共有が行われている。

(12) スーパービジョン体制

①	A22 スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性の向上や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> スーパーバイザーを配置し、いつでも相談できる体制を確立している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員に対するスーパービジョンを定例的に行い、職員がひとりで問題を抱え込まないように、スーパーバイザーなどを通じて、組織としての働きかけをしている。	
	<input type="checkbox"/> スーパーバイザー以外にも職員相互が評価し、助言し合うことを通じて、職員一人ひとりが支援技術を向上させ、施設全体の支援の質を向上させるような取組をしている。	○
	<input type="checkbox"/> スーパーバイザーは、職員からの信頼が得られるよう、研修に参加するなど質の向上に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 国が定める基幹的職員を設置している。	○

【コメント】

現在主任をスーパーバイザーとして選任しているが、他の業務より異動し、短時間しかたっていないため、更に経験が必要な状態となっている。現在は副園長とともに相談体制が取られている。